

全国学力・学習状況調査の結果を報告します

小学生・中学生の学力や生活環境などを調査する

全国学力・学習状況調査が

今年4月に全国一斉に行われました。

町教育委員会では、

10月1日に開いた委員会の中で、

調査結果の概要を公表することに

決まりました。

日野町の調査結果について

お知らせします。

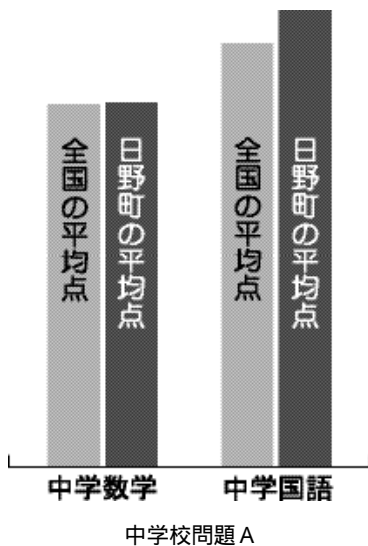
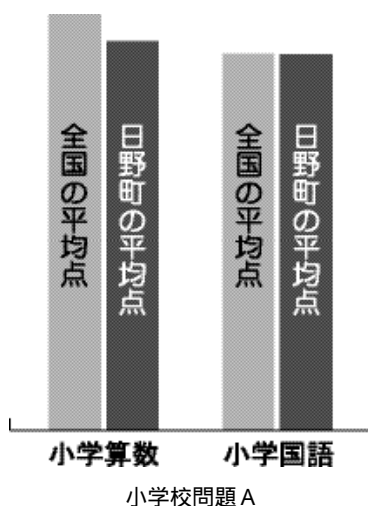
この調査では、国語、算数・数学の2教科について問題A（知識に関する問題）と問題B（知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力をはかる問題）の調査、及び意識調査（生活習慣、学習に対する意識などの調査）が実施されました。

ここでいう学力は、「全国学力調査」ではかることのできる学力の一部であり、児童生徒の学力の全てを表しているわけではありません。結果を分析することにより、日野町教育に関する課題を明確にし、改善に生かすことを目的としています。

「知識に関する問題」はおおむね理解

知識に関する問題（問題A）では、小学校は、国語は全国平均とほぼ同じで、算数はやや下回り、中学校は、国語は全国平均をやや上回り、数学はほぼ同じ状況です。

この結果から日野町の子どもたちは「知識に関する問題」はおおむね理解していると言えます。



また、日野町の子どもたちの学習に対する意識の調査は、次のような結果でした。

- ・国語の勉強は大切である（小76%、中95%）
- ・算数・数学の勉強は大切である（小88%、中83%）
- ・国語の学習内容はよくわかる（小84%、中50%）
- ・算数・数学の内容はよくわかる（小80%、中79%）
- ・将来社会に出たときに役立つ（小92%、中79%）
- ・授業で自分の考えを発表する機会が与えられている（小84%、中92%）

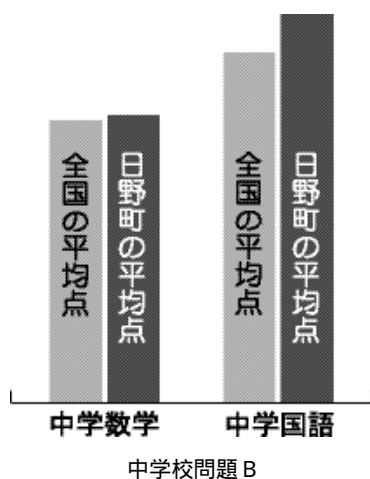
日野町では、各学校がそれぞれ工夫しながら、少人数指導や複数の教員による授業、地域の皆さんの支援による体験学習など、一人一人の子どもに応じた指導を行っています。

今後も学校と連携し、学習環境づくりに努めます。

「活用する力」を育てていこう

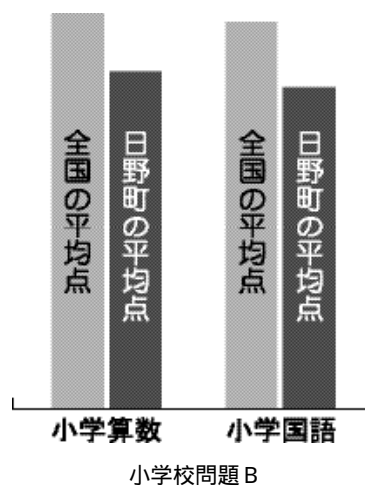
問題Bの特徴は、知識・技能などをさまざまな場面に活用する力をはかる問題が中心です。

小学校は、国語、算数とも全国平均を下回り、中学校は、国語は全国平均を上回り、数学は、やや上回る状況です。



問題Bの内容は、例えば、国語では、表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を整理すること、資料の情報を根拠にして自分の考えを書く。また、算数・数学では、複数の資料から問題解決に必要な情報を整理し、事象を数学的に解釈して説明することなどです。

これらの学習は、学習したことがすぐには現れにくいですが、具体的・体験的な活動を繰り返すことによって身につきます。



継続的な家庭学習を

身についた基礎的基本的な内容を活用（応用）する力は、「繰り返して学習する」「継続して積み上げる」「他の学習や生活の中で考える」といわれています。

調査の結果から見ると、小学生と中学生の家庭学習の時間と内容に違いがあります。

